

キャリアネットワーク

第2号

令和3年9月24日
富山県立富山総合支援学校
進路指導部

「よりよい進路選択に向けて」

高等部主任 山田 愛子

高等部では、卒業後の進路を考えるために、就業体験・生活体験を実施しています。体験先については、本人及び保護者の希望を基に、進路指導主事を中心に、担任や学年主任と一緒に考えて決めています。

就業体験では、本人の希望や適性の他、体験の受入れが可能か、通勤できるかを確認して体験先を決定しています。就職するためには、一人で通勤できる力、健康管理を含め、身の回りのことが自分でできる力、意思表示など、必要なコミュニケーションがとれる力が不可欠であり、その上で、与えられた場で真面目に働くことが求められます。これらの力は、就業体験の時期に限らず、ふだんから少しずつ、学校生活でも、家庭生活でも、心掛けて積み重ねていく必要があります。

また、福祉事業所での生活体験は、本人が卒業後どのような場所で、どのように過ごしたいかを想定して体験先を選びます。本人が自立して生き生きと過ごせる場所を学校と家庭と一緒に考える必要があります。

このように、生徒たちの自立と社会参加を目指し、よりよい進路選択につなげるため、学校と家庭が協力して支援することが必要です。今後ともよろしくお願いいたします。

高等部就業体験・生活体験

☆就業体験・生活体験を行いました。

高等部2年生 就業体験先 (6月7日～6月18日)

<企業等>

- ・黒部市役所 総務課
- ・太平ビルサービス株式会社 富山支店
- ・浜田食品工業株式会社
- ・朝日印刷ビジネスサポート株式会社
- ・株式会社大阪屋ショップ 太郎丸店

<就労継続支援事業所>

- ・就労継続支援B型事業所 ひまわり



高等部3年生 就業体験・生活体験先 (5月31日～6月18日)

<企業等>

- ・株式会社PLANT スーパーセンターPLANT黒部店
- ・東ソー・セラミックス株式会社
- ・株式会社富士薬品ユニバーサルネット
- ・北陸電力ウィズスマイル株式会社
- ・富山総合ビルセンター株式会社
- ・株式会社魚国総本社 北陸支社
- ・株式会社三和製玉

<就労継続支援事業所>

- ・指定就労継続支援A型事業所株式会社とらいあんぐる
- ・就労継続支援A型事業所オアシス砺波
- ・障害者就労継続支援施設あかり
- ・就労継続支援A型事業所なごみ
- ・就労継続支援B型事業所えみふる
- ・就労継続支援A型事業所ほまれの家経堂店
- ・就労継続支援B型事業所BROS
- ・多機能型就労支援事業所MUROYA

<生活介護事業所>

- ・特定非営利法人あかりハウス
- ・社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 高志ライフケアホーム



体験生徒の感想・保護者アンケートより

不安なことや分からないことは、自分からすぐに相談することや、教えてもらったことはメモに取ることをがんばりました。(就業体験・生徒)



体験先の検査項目の通り、ゴミや毛などが衣服に付いていないよう、清潔や身だしなみには特に気をつけました。(就業体験・保護者)

汁物や煮物、サラダなどを盛り付けました。学校の作業学習ではグラムを量るけど、体験先は大体の量だったので、調節が難しかったです。(就業体験・生徒)

健康面で毎日水分を摂っているか、疲労していないかなど気をつけました。生活リズムを崩さないよう努めました。(就業体験・保護者)



体験では清掃作業をしました。掃除機のかけ方が難しかったが、担当者のアドバイスをよく聞き、うまく使えるようになりました。(就業体験・生徒)

新たな体験をさせてもらってアドバイスを頂き、自分で工夫してみるというたくさんの良い学びの体験になったと思います。(就業体験・保護者)

惣菜のパック詰めを正確に行いました。大きな声であいさつや報告をすることも頑張りました。いろいろな経験ができてうれしかったです。(就業体験・生徒)



各学部の取組



小学部・中学部 ～夏休みの生活から～

買い物をしたときに、お釣りを財布に入れたり、買い物袋を車まで持って行ったりしてお手伝いを頑張りました。小学部・2年生

食洗機できれいになった食器を取り出してキッチン台に乗せたり、汚れた食器を手渡したりして、片付けの手伝いをしました。小学部・3年生

夕食のお好み焼きのお手伝いをしました。卵を割るとき、初めにコンコンと殻こびひを入れるのを手伝ってもらえば、あとは一人で上手に書けました。小学部・5年生

デイサービスでは、椅子を準備したり、テーブルにお弁当を運んだり、自主的に活動することができました。小学部・4年生

家族と一緒に海で釣りをしました。豆アジが沢山釣れました。とても楽しい思い出です。お手伝いは、洗濯畳みや食器洗い、テーブルの片付けをがんばりました。中学部・3年生

家でご飯を食べた後の茶碗を運ぶお手伝いをしました。味噌汁以外はみんな運びます。これからもお手伝いをしていきたいです。中学部・3年生

今日は家族でショッピングに行きました。決まった金額の中で自分でお菓子をを選んで買いました。楽しくショッピングができました。中学部・1年生



高等部 ～職業講話「先輩に学ぶ」より～

夏季休業中の登校日に、本校卒業生3名を招き、職業講話を開催しました。先輩たちに、勤務先の仕事のことや、在学中に身に付けておくことよいことなどを話してもらいました。

- ・相手に伝わるように挨拶をすること
- ・分からないときは、すぐに質問をすること
- ・大切なことはメモをとること
- ・服装や身なりを整えること
- ・自分のできることとできないことを知ること



あまり知ることのできない、卒業してからの貴重な体験談を聞くことができ、生徒たちは驚きや納得の声を上げていました。

保護者の方にも参加していただき、ありがとうございました。

第1回インターンシップ推進委員会報告

インターンシップ推進委員会を開催しました。

日時：7月6日（火） 13：30～15：00

委員・富山公共職業安定所 就職促進指導官

- ・富山障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー
- ・朝日印刷ビジネスサポート株式会社 管理部 部長
- ・特定非営利法人TEAM appreciate
多機能型事業所ジョブスクールさくらだに 理事長
- ・特別支援学校就労応援コーディネーター
- ・PTA代表

学校関係者 学校長 他11名

協議内容：令和3年度事業計画について

令和2年度卒業生の進路先について

令和3年度高等部3年生・2年生の就業体験・生活体験について 他



協議では、働くために必要な力について、それぞれの立場からたくさんのご意見をいただきました。

- 返事をする事
- コミュニケーションがある程度とれること



上記の二つが大きく取り上げられました。

また、具体的には、

・「はい」と返事するのではなく、指示されたことに対して分かったのであれば「分かりました」分からないのであれば「分かりません」と自分の意思表示を相手に示すこと。

・注意を受けても周囲とトラブルを起こさず、良好な人間関係を築いていけること。

という、ご意見をいただきました。

第2回は、1月に予定されています。児童生徒の自立と社会参加の推進を目的に、今後も関係機関との連携を深めていきたいと思っております。